

討してまいります。④病院側とは、利便性向上の理解は得られており、今後のダイヤ改正時には協議を行います。⑤高齢者優遇制度は、運賃収入の減少となるため、当分の間見合わせたいと考えています。

水野谷 正 則

愛の基金について

問 愛の基金は、要介護高齢者激励金やほり・きゅう・マッサージ、老人クラブ、障害者小規模作業所等の助成金に活用するなど大変有効な基金。しかし、収支状況は約3000万円の支出に対し、寄附等による収入は約300万円。この状況は避けては通れない課題と思うが。

答 市民への啓発や市内外の皆様にも様々な機会をとらえて事業を周知し、基金原資の増加に努める。また、愛の基金本来の趣旨に沿った適切な運営ができるよう努めます。

「公用・公共施設の適正な維持管理（賃借料）」について

問 市が土地を借りて運営している賃借料は住民の大切な公金です。土地の価格等により、場所によって賃借料が異なることは仕方がないが、近隣の民間賃借料とかけ離れた

価格で借用している所があるなら、民間並みの借地料に改める必要があると思うが。

答 経済的妥当性を考慮した基準は必要。年度内の作成を目指しています。今後は、この基準をベースに新規契約や契約更新を行う考えです。



中山義秀記念文学館

縄田 角 郎

問 中山義秀顕彰会活動の現況について

答 今年度から顕彰会会長に市長が就任し、全市的な活動を展開しており9月5日、今年度の中山義秀文学賞の第2次選考会を開催し、応募17作品の中から3作品に絞り込みを行い、11月23日に公開選考会形式で受賞作品を選定する予定です。

賞者火坂雅志さん原作「天地人」の2009年NHK大河ドラマ決定に伴う白河市としてのPR活動について

答 中山義秀文学賞受賞作品の大河ドラマ決定は、本市を全国的に発信する絶好の機会であり、市と観光協会及び中山義秀顕彰会が連携し、市広報紙やホームページで積極的に情報発信に努め、NHKをはじめ各報道機関に働きかけ、効果的なPRを行ってまいります。

不法投棄について

問 不法投棄の監視活動について、福島県産業廃棄物不法投棄監視員による監視活動及び西白河地方衛生処理一部事務組合が実施する不法投棄監視パトロールにより、定期的な巡視活動が行われております。

飯村 守

問 谷津田川せせらぎ通りの石畳は破損箇所が大変多く景観を壊している。補修についてどのように検討されているのか。

答 交通量の増加とともに、石畳の破損が顕著となり、各種の応急措置を講じてきたと

ころであります。景観を損ねているところから、今年度は、車道用石畳に用いている新工法の試験施工や、車の歩道部への進入を防止するための平面ハンパやラバーポールの設置などを行うとともに、速度規制の強化要請等について検討してまいります。



せせらぎ通り

問 市道昭和町桜町線の沿線である愛宕町の一部区間では道路が狭いため、交通に支障を来している。早急に整備を図ることはできないのか。

答 身近なまちづくり支援街路事業として、本市においては「郭内南湖地区」として採択され、愛宕町地区を通る都市計画道路も本事業の対象路線となっており、都市計画道路全体の整備状況等を勘案し、

沿道をはじめとした地域皆様の意向等を踏まえながら、事業化について検討してまいります。

戸倉 耕 一

問 西白河地方衛生処理一部事務組合西郷埋立処分場の役割と今後について

答 埋立処分場は、昭和56年度竣工、あと5万5000立方メートルの残余容量。このことから平成30年度までは利用可能であります。また、処分場からの排水は、毎年3回開進、飯土用、外面の役員立ち合いで水質検査を実施し、その結果は、基準値を大きく下回っており、検査結果は、各地区惣代に通知しております。新しい処分場については、今後検討してまいります。

問 陳情書に対する即応性について（大信中新城地内）

答 大信中新城地内市道135号線の現況は、幅員が狭く、かつ隅切りがなく緊急車両等の通行が容易ではないことから、家屋等の移転を伴わない範囲での整備となりますが、交差点の隅切り等について検討を考えております。

グループホームの設立を。

答 障がいのある方を支えるご家族、団体のホーム設置の取組みに対し、法人化や補助制度等の積極的情報提供をしたいと考えております。

藤田 久 男

路線バスについて

問 白河―浅川線廃止と代替バス運行内容について

答 本年4月15日、浅川町から白河市に対し路線廃止の正式協議文書が提出された。浅川町では本年9月30日をもって廃止したい意向であった。白河市もやむを得ず廃止することを選択し、同意の回答を行った。

代替バスについては、暫定的措置として石原から刈敷坂の区間で運行し、刈敷坂バス停にて新白河―石川線・白河―棚倉線にも接続ができる無料の代替バスとしたい。10月1日から来年の3月31日まで、平日上下各2本、計4本の運行を予定しております。

下水道使用料について

問 なぜ農作物、畜産等に使用した水にも下水道使用料金をかけるのか。

答 農作物の散水、畜産等に使用した水について、子メー

ターを設置して使用料が明確に区分できる場合、減額可能である。本来なら下水道は流す物についてとるのが前提だ

と思うが、農業集落排水区域においても使用者全体の公平性からも、個人負担してもらいたい。

吾妻 一 郎

問 燃料高騰による施設園芸に対する支援対策について

答 国・県の補助を受けた事業に対して市として事業費の10分の1を上乗せするようにします。

問 野菜等の価格補償対策について

答 これまでも一定の負担をしてきているので、これ以上の支援は難しいです。

問 県道社田浅川線表郷堀ノ内地区のバイパスの完工の見通しについて

答 地権者も状況の打開に積極的な姿勢を示している。市としても早期整備に向けて取り組みます。

問 英語指導助手の表郷地区への配置について

答 表郷庁舎に指導助手を勤務させるなどの対応を検討してまいります。

問 表郷中学校への軽車両の配置について

答 庁舎や本庁舎の公用車で対応してまいります。



表郷庁舎

藤田 文 夫

問 市長就任から一年が経過した感想と今後の施政方針について

答 市政懇談会などで市民の反応が即座に伝わってくる緊張感と、地方自治の第一線で働く充実感を常に感じてまいりました。今後、市政運営の基本を堅持しつつ、各種施策の充実強化を図ってまいります。また、住民の声を的確に反映しながら、各地域の特性を發揮した市政運営を行ってまいります。

問 表郷庁舎空きスペースの利活用について

「地球温暖化」の情報提供を行っています。今後も市民一人ひとりの身近な温暖化対策の実践が必要と考えています。

問 「赤ちゃんの駅」の拡大設置についての考えを伺う。

答 「赤ちゃんの駅」はお母さんと赤ちゃんの外出のとき、おむつ替えや授乳のために必要と考えています。さらに今後、公共施設設置への拡大を推進してまいります。「赤ちゃんの駅」のネーミングはわかりやすい名称に、フラッグは目に付きやすい表示を検討します。民間施設設置拡大にも協力をお願いしてまいります。

問 明年の「世界天文年2009」の取り組みを伺う。

答 小中学校で天体望遠鏡を所有していない学校は、白二小、みさか小、表郷小の三校です。当該校の購入希望に応じて対応を考えてまいります。世界天文年の企画は文科省や県教育委員会からの取り組み内容により指示します。

雇用促進住宅廃止問題

問 雇用能力開発機構（厚労省管轄の独立行政法人）は、

雇用促進住宅廃止問題

雇用促進住宅を廃止する方針ですが、市内2カ所の住宅はどうなるのですか。

答 中田宿舎は廃止が決定され、本年4月からは新たな入居募集を行わず、入居者には説明会等を実施のうえ退去手続を進めており、新池の白河宿舎は平成23年度まで管理運営し、その後退去手続を行っていくとのこと。

問 入居者(市民)に対して、市としてはどのようにフォローアップしていくのですか。

答 住宅の老朽化が著しいこと、財政的に大変なことなどから購入は難しい状況であり、入居者の住宅事情を考慮し、住宅を継続して管理運営していただくよう要望しているところです。



雇用促進住宅(中田宿舎)

問 入居者の要望を聞きながら、市として何らかの対策を講じるべきではありませんか。

答 市の住宅ではないので、入居者の要望を聞くという状況にはありません。入居者からの個別相談には、市・県営住宅の募集状況・入居手続など情報提供に努めています。

伊藤 藤 邦 光
教育施設の耐震診断と
改修・改築計画は

問 教育施設の耐震診断で今までの議会答弁と、今議会の補正予算に計上された4校の耐震診断を実施しても5校と体育館1。また、市総合計画の平成22年までの実施計画でも、校舎1と体育館1が予定されているだけです。

これです。これで完了するのでしょうか、耐震診断結果と今後の計画について伺います。

答 平成12年大信中学校校舎、13年大屋小学校の耐震診断を行い、いずれも補強が必要との診断結果。また、教育施設で耐震診断が必要とする建物は、小学校15校中4校、幼稚園8園中4園、社会教育施設は、16施設中1施設、社会体育施設は、15施設中5施設で

あります。
問 6月に成立した「改正地震防災対策特別措置法」は3年間の時限措置、今年度内に

7月臨時会が7月28日に行われしました。

「地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」、「白河中央インターチェンジ南線道路改良工事請負契約について」が提出され、質疑の後、原案のとおり可決されました。また、地方自治法の一部改正に伴い、白河市議会会議規則も改正しました。

なお、白河中央インターチェンジ南線道路改良工事請負契約及び白河中央スマートインターチェンジの概要は次のとおりです。



(奥の建物は白河厚生総合病院です)

7月市議会臨時会

補正を組んでも耐震診断と改修改築計画を立てるべきと思いますので伺います。
答 年度途中の制度導入でも

あり、新年度の中で考えていきたいと思っております。

白河中央インターチェンジ南線道路改良工事請負契約に係る概要

【契約内容】

工事の名称 白河中央インターチェンジ南線道路改良工事
工事の番号 第102号
工事の場所 白河市豊地弥次郎 地内
工種 土木
工期 議会の議決を得た日の翌日から平成21年3月25日まで
請負代金の額 315,000,000円
入札の方法 制限付一般競争入札
請負者 三金興業株式会社 代表取締役 金子芳尚

【工事概要】

道路改良 L=266.3メートル W=7.0(14.5)メートル
切土 V=156,000立方メートル
法面工 A=11,000平方メートル

【予算】(款)45土木費 (項)20道路改良費 (目)35一般公共道路改良費

白河中央スマートインターチェンジの概要

設置箇所 : 福島県白河市豊地地内
東北縦貫自動車道「白河IC」から6.7km、「矢吹IC」から10.2km、R294号との交差点箇所
対象車両 : ETC車載器を搭載した12m以下の全車種
(特殊車輛の通行許可を受けたセミトレーラー16.5m以下)
IC形状 : 不完全クローバー型、上下分離型のフルゲート方式(上り・下り線各ETCゲート2箇所、ETC機器4基)
取付道路 : 白河中央IC北線 L=290m 白河中央IC南線 L=340m W=7.0(14.5)m
利用交通量 : 約1,400台/日(ETC専用の場合の推定値)
運用時間 : 24時間